

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小論文		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>文法や語彙の時間に学習した文型、語彙を用いて、400字程度の作文から、日本留学試験の意見文、800字程度の入試の小論文まで様々な文章が書けるような力をつける。小論文作成、リライト後、パソコン入力を宿題として課す。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. 課題提出:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>『聴解・発表ワークブック(スリーエーネットワーク)』 『留学生のためのここが大切 文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 生教材(新聞等)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>1年後には講義のレポート、病院実習のレポートなどを作成するため、普段から書くことに慣れておく必要がある。毎週末と長期の休みには日記を書く。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>個人であるいは、グループでのピアレスポンスも取り入れながら、力をつけていく。共通の間違ひについてはクラス全体でチェック、フィードバックしていく。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	(1)構成を考え、書き言葉で書けるようになる。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記	
		各コマにおける授業予定	書き言葉に気をつけて、文法、文型に注意して書く(自動詞、他動詞、受身)。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	(2)構成を考え、書き言葉で書けるようになる。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記	
		各コマにおける授業予定	書き言葉に気をつけて、決まった文章の結びつき(呼应)を習得する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	(3)構成を考え、書き言葉で書けるようになる。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記	
		各コマにおける授業予定	(文末表現の調整) ～思う、～思われる、～思えるなど ～のではないか、～からだなど			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	(1)留学試験の小論文が書ける。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記	
		各コマにおける授業予定	3段落の意見文、500字程度の小論文を時間内で書く。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	(2)留学試験の小論文が書ける。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記	
		各コマにおける授業予定	4段落の意見文、500字程度の小論文を時間内で書く。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	(3) 留学試験の小論文が書ける。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記
		各コマにおける授業予定	4段落の意見文、500字程度の小論文を時間内で書く。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ハガキ・手紙が書ける。	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記
		各コマにおける授業予定	賀状や就職の際の礼状など葉書と手紙の書き方を身につける。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Eメールが書ける(就職活動の準備)	『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』	小論文ワード入力 週末の日記
		各コマにおける授業予定	先生や目上の人へのEメールの書き方。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	新聞に投稿してみよう(1)	生教材	
		各コマにおける授業予定	読者欄に投稿する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	新聞に投稿してみよう(2)	生教材	
		各コマにおける授業予定	読者欄に投稿する。		